

令和 2 年度 墨田区立第一寺島小学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 1 1 日

学 校 目 標	人間尊重の精神を基盤として、心身ともに健康で、自主性、協調性、実践力に富んだ子供を育成する。○進んで学習する子○思いやりのある子○からだを大切にする子
目 指 す 学 校 像	スピード感をもって課題を克服していく学校
目 指 す 子 供 像	主体的な挑戦力をもった子供
目 指 す 教 師 像	前向きで使命感に満ちた教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	前年に引き続き、学習状況調査の数値が上昇した。経年変化でも調査学年は継続して向上しており、基礎学力の定着が確実にできている。学年により不得意分野があり、克服が課題である。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	他校の通級学級主任教諭を講師として招き、校内委員会で支援策について検討協議した。保護者の理解を得ながら、関係機関と協力して特別支援教育を推進していく。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	コロナ禍の影響により講師派遣型のキャリア教育は数講座しか実施できなかった。例年実施している隣接中学校・高等学校との交流を推進していきたい。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	学習状況調査の経年変化数値を拠り所に、各学年と学級の課題を学習指導部でも検討し、学校全体と個々の学年分科会でのOJTなど、効率的に指導力向上の研修機会を設けた。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・平均値が上昇しているということは、上位の児童だけでなく全体の学力が上がっていることを示しており、好ましい。引き続き、下位層の底上げに注力して欲しい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	予防的生活指導を念頭に、教職員全体で「ならぬものはならぬ」という共通理解のもと、規範意識の醸成にあらゆる機会を捉えて積極的に児童の指導にあたった。今後も継続して指導する。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	本校の落ち着いた児童の実態と児童理解の考え方を基本に、禁止事項中心のルール徹底指導から、相手への思いやりを基調としたマナーの指導へと転換した。今後も道徳などの指導の機会を通じて心の教育に力を注いでいく。「評価する」は93%。	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	通学路点検で発見した、民家の塀が崩壊している箇所と、民家の屋根からの雨樋崩落の恐れがある危険箇所を区役所の関係部署に連絡して対応した。校内生活でも指導を徹底していく。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	コロナ感染防止に対応しながら個人面談を実施した。また、電話やメールなど非接触型のツールを駆使して、保護者と連絡を取り、事態の対処に努めた。今後は児童一人一台のタブレットを活用するなどして、積極的に対応していく。評価は87%。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・地域でも挨拶がしっかりできるようにして欲しい。 ・児童が落ち着いており学校生活が安全であることは、長年の指導の積み重ねである。			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	新たなことに挑戦する魅力的な校風を目指す経営方針の下、コロナ禍でも感染防止に配慮しながら各分掌で創意工夫に満ちた取り組みを進めた。「評価する」は95%。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	生活実態調査や学習状況調査、学校アンケート等により実態把握を進めた。ルールからマナーへの指導方針転換などで、学習指導や生活指導の見直しを今後も進める。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	庶務課施設係と連携して、老朽化した施設・箇所の改修工事を完了した。児童への安全指導を継続し、日常の安全点検を怠ることなく実施していく。「評価する」は95%。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・コロナ感染防止対策では、教職員の消毒作業など業務が増えご苦労がしのばれる。また、PTAの皆様もよく対応しており、感謝している。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	コロナ感染防止対策で学校公開の機会が減り、授業公開は全くできなかった。プリントやオンラインで教育活動の一端を広報したが、次年度以降は一層強化していく。「評価する」は85%。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	コロナ感染防止対策で、保護者の来校機会が減少し、地域の方を招聘した教育活動も限られてしまった。学校評価アンケートの各項目では「評価する」は87%を超えている。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・ホームページに学年便りが掲載されるようになり、学校の様子がより分かりやすくなった。また、欠席連絡に新しくオンラインが導入され、早く安全に連絡することができるようになった。			

2 令和2年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> ・今年、学校アンケートの回答を全ての家庭から回収した。質問項目「子供は楽しく学校に通っている」および「学校行事について満足できる」では、ともに95%の家庭で評価を得た。また、規範意識を守った学校生活については、93%の家庭で達成されているとの評価を得た。 ・規範意識が醸成され落ち着いた学校生活を送ることができているが、今後もいじめや不登校の対応については、予防的生活指導を念頭に教職員全体で共通理解のもと丁寧な指導を心がけていく。 ・次年度はコロナ感染防止対策に十分配慮しながら、例年行われてきた地域・家庭との連携した教育活動を推進していきたい。
--